

■木島平村消防団ラッパ隊が北信大会2連覇！

木島平村消防団では、消防技術の向上のため、毎年消防ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会を開催しており、お互いのポンプ操法やラッパ吹奏の技術を競い合い、村の代表を決めています。

村の代表となったチームは、近隣の6市町村で行う『北信大会』に出場しますが、今年の北信ラッパ吹奏大会で、木島平村消防団ラッパ隊が昨年引き続き優勝し、県大会に2年連続して出場する快挙を成し遂げました。

毎日の仕事の後、夜遅くまで練習した成果の表れだと思えます。

県大会の結果は、13チーム中6位と健闘し、木島平村消防団の吹奏技術の高さを県内に示しました。



木島平村消防団ラッパ隊の選手

高社山の新登山道に期待！

埼玉県嵐山町 高木 弘（山口出身）

信州100名山の高社山は1,351mの山ですが、とても存在感のある大きな山で「高井富士」と呼ばれて親しまれており、地元では「たかやしろ」と呼んでいます。

平成28年8月11日が「山の日」として祝日になりました。それを記念して、ふるさと木島平村を含め地元の市町村では高社山を大々的に売り出そうと登山を計画され、多くの参加者で賑わったと聞きます。

現在、高社山の登山コースは3コースあります。

【赤岩コース】 登り2時間40分

中野市内から夜間瀬川を渡り、道なりに赤岩の谷蔵寺を目指します。谷蔵寺の100m手前の車道下には高社神社拝殿と中野市の登山者用トイレがあり、谷蔵寺を左に見て農道をすすむと「登山口」の石柱があります。小さな尾根に取りつくぐ、次第にしつかりした尾根になります。途中の道には石造十三仏が置かれ、案内板や登山道が整備されています。山頂への道は稜線をゆるく登ります。大日如来、八幡神などの石祠を経て、急坂をひと登りすると、高社神社奥社。大きな岩窟のなかに社殿があります。更に15分ほどで高社山山頂に着きます。木造の展望台があり見事な展望が得られます。

【夜間瀬スキー場コース】 登り1時間25分

正面ゲレンデの左側の砂利の作業道を登り、リフトの最終点へ登りきったら、背の低い灌木林の中を登ってすぐに山頂。

【木島平口登山道】 リフト使用で15分

山頂リフト終点から15分ほどで山頂。グリーンシーズンは運行不定期のため注意が必要です。

村では本年度に第7リフトやまびこ沢沿いを登り、ブナ林を通

■調布観光フェスティバルに出店します

調布観光フェスティバルに今年も木島平村が出店します。今年には調布の花火大会が秋に移ったこともあり、よさこい祭りや重なるこの週に開催されます。村から新鮮な夏野菜をお届けしますので、どうぞご期待ください！

【日時】 8月26日（土）～27日（日）午前11時～午後4時

【場所】 市役所前広場

り、村や千曲川が見渡せるゲレンデを横断し、ゲレンデ左側を登るコースを整備するそうです。(広報きじま平2月号に掲載)

新登山道が整備されることにより、大いに期待されます。なぜなら毎日新聞旅行「まいたび」では「高社山と奥鬼無里の水芭蕉とブナの新緑コース(1泊)」で(赤岩、夜間瀬コース)で案内していただきますが、木島平口登山道新設に伴いパノラマホテル、カヤの平のブナ林、馬曲温泉入湯券等をセットで売り出すチャンスです。村外向けのPR活動に期待しています。

帰郷便り

埼玉県さいたま市 小林 荘志 (内山出身)

7月の15日からの3連休を利用して、美しい緑、清冽な水、凜とした空気が豊かな、郷里の木島平村へ帰郷して来ました。15日の夕方に父の3回忌法要を済ませ、夜は内山の柱松子祭事を見学し、翌16日の日曜日は、馬曲の「郷の家」での「昭和レトロ食彩紀行」に参加の後、真夏とは思えぬ涼しさのカヤの平高原ロッヂで泊まり、樹齢300年のブナ樹林・ワタスゲやニッコウキスゲが咲き乱れる北ドブ湿原を散策して来ました。

両日とも好天に恵まれ、昼は関東地方と同じ30度の夏日ですが、朝夜は流石に涼しく、昔のままの田舎らしさを感じました。

内山の柱松子の祭事については、昨夏の当誌面で掲載紹介したので説明は略しますが、五穀豊穡、天下泰平を祈る村民の気持ちに反映し、盛大な3時間のドラマでした。その夜は馬曲の「梨の木荘」で泊まり、翌朝、露天風呂で鋭気を養った後、「郷の家」で今年も催された「昭和レトロ食彩紀行」に参加しました。囲炉裏を囲んでイモナマスや腹一杯頂き、紅鱒の炉端焼き、ズッキーニの花や実の天ぷら、田植え煮物、山うどの煮物、やしようま、芋の煮転がし、信州サーモンのお造り、笹ずし、早ソバ、おやき、熊肉汁、山菜お

こわ、その他沢山の田舎料理のほか、ブルーベリーやトマト、モモなどのフルーツやジャムなどの食彩を傍らに50年以上の昔を偲びつつ、満腹に楽しみました。また翌日のカヤの平高原も素晴らしく、樹齢30年以上の白肌大樹のブナ林のヒンヤリとした高原の空気は、体の奥深く迄沁み込む外気の味もまた格別でした。あまり急でない山道を30分程登った所の八剣山(1,676m 馬曲の奥山)、台倉山(1,853m)、高標山(1,748m 志賀高原側)に囲まれた低地に北ドブの湿原が広がり、トンボやチョウが飛び交う湿原には、未だワタスゲの花が一面に白く咲き残り、ニッコウキスゲも黄色い花を付け、アヤメの紫の花も目を引きました。

ロッジ前の牧場には、乳牛や綿羊が放たれ、伸び伸びと人目を気にしないで呑気に草を食っており、キャンプ場(約100張りのテント)も県内外の大人子供達で賑わっていました。下界とは一味違った至福な世界であり、目に染みる緑と清冽な涼気は、にぎり飯やお酒の味を一味も二味も美味しくしてくれました。

兄弟姉妹達9人の家族連れ、楽しい賑やかな旅行でしたが、来夏も又ここでの再会を約束し、別れを惜しみつつ散会しました。



会報原稿募集中!

【毎月5日までに左記へ送付ください。】

【送付先】〒389

2392 木島平村役場内 ふるさと応援団事務局

FAX 0269 824121

✉ seisaku@vil.kijimadaira.lg.jp